

## ご存じですか？ 図書館ホームページの特徴的データベースゾーン



## 7月～9月のピックアップコーナー

### 『My life』

竹本 瞳

ヨーロッパには「銀のスプーンを持って生まれて来ると裕福になり、一生お金に困らない、また木のスプーンをもって生まれて来るとお金もなく貧しい一生を送る」と言われています。日本でも、近年子供の誕生日祝いに銀のスプーンを送る人がいるようです。昨今の親達が生まれてくる子供の幸せな一生を願うのは時代は変わっても変わらないのでしょう。

しかし、歴史上の人物の中には、生まれながらに銀のスプーンが約束されていても幸せな一生を送れなかった人達もたくさんあります。たとえば、オーストリア女帝マリア・テレジアの娘でフランスブルボン朝最後の国王ルイ 16 世に嫁いだ王妃マリー・アントワネットのように、銀のスプーンを持って生まれて来たために激動する歴史の流れに翻弄され、新しい歴史的一幕を開けるため、その華やかな生涯をギロチンで閉じられてしまいました。当時( 18 世紀 )は、自分の人生を自分で開くことなど考えられなかった時代でした。

フランスの作家ロマン・ロラン( 1866 - 1944 )は、「人生とは、薔薇の花びらを敷き詰めた平坦な舗道を歩くのではない。道なき道に闘いを挑むのが人生・・・」と言っています。つまり「自分の人生は、自分の意志で造った道を歩け・・・」といっているのです。

昨年ドイツで行われたワールドカップを最後に 29 歳でプロサッカー選手を引退した中田英寿の引退メッセージ(「人生とは旅であり、旅とは人生である」)を思い出しています。自分の人生を 29 歳で一つの区切りとして、彼はこれからどんな旅をして、そしてどんな人生の軌跡を造るのか、と興味を持っている人も多いのではないかと思います。

今回のピックアップコーナーは、先達のさまざまな「生き様」をテーマにしてみました。心に残る一冊があればと願っています。

たけもと ひとみ ( 司書・課長補佐・情報サービス課 )